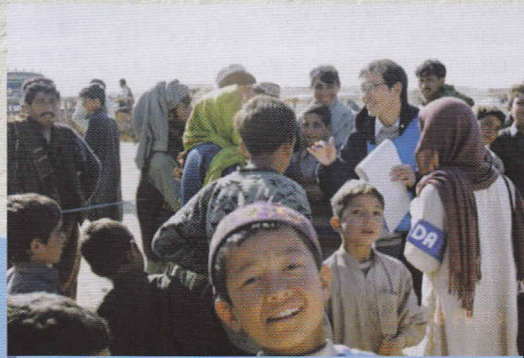


『困ったときはお互い様』を合い言葉に『相互扶助』精神の国際協力活動を実施

岡山市に本部を置き、国連医療NGOとして現在まで世界の途上国50カ国で保健医療支援活動を展開するAMDA。AMDAの国際貢献活動を通じて、21世紀を担う若い人たちのボランティア精神を育ててもらえることができれば…。そんな願いを託した学習会を考えています。



アフガン難民キャンプ内で、派遣された医療関係者が活動しやすいように、難民からききとり調査を行うAMDAスタッフ(調整員)。住民のニーズを把握し医療支援の実施方法を計画します。場所を確保し、設備を整え、活動が開始してからも活動の運営を行います。

学習内容

現場で活動を行ったAMDA職員(調整員)が、どういった方法でプロジェクトを立上げ、保健医療支援を行っていったのか、またその過程で工夫したことや苦労したことなどを、宿泊する岡山県内の旅館・ホテルへ出向き具体的にお話しします。「これからの世界平和のために、生徒の皆さんは何ができるか」国際ボランティアについて学習します。

AMDAによる活動は大きく二つに分けることができます。

緊急救援活動

人災・天災による被災者に医療救援・生活物資支援を被災地に近い支部のスタッフを中心として各国支部から編成するAMDA多国籍医師団によって実施する。

2001インド西部大地震緊急医療支援



地域医療活動

貧困等により社会から取り残されている人々に必要とされる保健医療・教育・生活環境向上各支援を実施する。

▶ バングラデシュ保健教育

▼ スリランカ北部巡回診療



AMDAの活動についてはホームページをご覧ください。 <http://www.amda.or.jp/>

私たちもお手伝いしています!

AMDA高校生会

1995年の秋に発足した高校生のボランティアグループです。AMDAが海外で行っているプロジェクトの中から1つ選び、街頭募金や地域行事などの参加、テレビやラジオへの出演などの方法で支援しています。私たちの活動をより多くの人に知ってもらうため、ホームページで紹介しています。



URL

<http://www.amda.or.jp/highschool/>

ガイド

- ■ 講義時間 / 1時間30分以上
- ■ 費用 / 1万円+交通費
- ■ 申込方法 / 実施日より2ヶ月以上前に電話にて申し込む
※AMDAの活動、あるいは国際協力活動についての事前学習をお願いいたします。
必要な場合AMDAの資料提供も行います。
※生徒さんからの質問を事前に送付くだされば、さらに充実したアドバイスも可能です。
- ■ 受付時間 / 10時~17時
- ■ 問い合わせ先 / 特定非営利活動法人 AMDA (アムダ) 広報室
〒701-1202 岡山県岡山市楠津310-1
電話 086-284-7730 FAX 086-284-8959
Eメール member@amda.or.jp

その3 国際ボランティア体験

国際貢献の重要性、世界の人々と協力する姿勢を学ぼう!



公設国際貢献大学校は、国際的な人道援助活動を志す人材を国内外から募集し、専門的なカリキュラムを通じてスペシャリストに養成する機関です。国際貢献ってなに?緊急救援活動って、どういうことをしているの?多国籍の医療従事者をはじめ、多様なスタッフ陣が実践経験を基にレクチャーします。



校長:菅波 茂



研修メニュー

- 講演・講話・講義** 大学校講師及び外国公使館大使等による国際協力に関する講義
- ケーススタディ** 事例研究(NGOによる国際協力の事例を検証する)
- ケースメソッド** 事例教材を用いて参加者の討議を中心に授業を進める
- プロジェクトマネジメント** 国際協力における実践的組織マネジメント
- ボランティアエクササイズ** 緊急救援模擬演習、危機管理模擬演習、車椅子体験等のバリアフリー体験学習
- フィールドワーク** 森林保全ボランティア体験、岡山県健康の森学園訪問(養護学校と授産施設との一体化を図る知的障害者のための全寮制福祉施設)



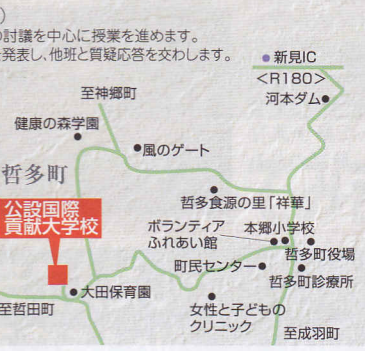
宿泊研修の一例(1泊2日コース)

- 11:00 国際貢献大学校到着 / 開講式・オリエンテーション
 12:00 昼食(弁当)
 13:00 ケーススタディ1
 国際協力の事例紹介により開発途上国の現状を認識します。
 ボランティアエクササイズ1
 「バリアフリー体験学習」により弱者の視点を疑似体験します。*車椅子体験等
 16:00 ケーススタディ2
 国際協力の事例紹介により開発途上国の現状を認識します。
 17:30 夕食準備(自炊)
 夕食
 19:30 ケースメソッド1(全体説明)
 事例教材を用いて参加者の討議を中心に授業を進めます。
 ここでは、事例及び討議の進め方を説明します。
 21:00 入浴
 23:00 就寝

- 6:30 起床・洗面
 7:00 朝食準備(自炊) 朝食
 8:30 清掃
 9:00 ボランティアエクササイズ2
 「危機管理模擬演習」「緊急救援模擬演習」
 ※海外での国際協力の現場を想定した活動を体験します。
 10:30 ケースメソッド2(グループ討議)
 事例教材を用いて参加者の討議を中心に授業を進めます。
 ここではグループ毎に討議を行います。
 12:00 昼食(弁当)
 13:00 ケースメソッド3(発表)
 事例教材を用いて参加者の討議を中心に授業を進めます。
 ここではグループ毎の意見を発表し、他班と質疑応答を交わします。
 14:30 閉講式
 15:00 国際貢献大学校出発



対象 高校生 **定員** 25名(引率教師含む) **研修時間** 約9時間
学校の授業 学校に戻ったら、国際協力・ボランティアについて振り返り、自分たちでできる活動について考えてください。振り返りの学習により、国際貢献大学校で得た知識や疑似体験をより効果的なものとする事ができます。
交通の便 岡山市内から高速道路を利用してバスで約2時間かかります。



体験内容

- 場所 / 公設国際貢献大学校
- 講義時間 / 体験内容によって相談可
- 費用 / 講師交通費、資料作成費、施設利用料他
- 体験人数 / 25名程度
- 宿泊 / 25名可

ガイド

- 申込方法 / 実施日より2ヶ月以上前に電話にて申し込む。
- 受付時間 / 10時~17時
- 問い合わせ先 / 公設国際貢献大学校 教務部
 〒718-0392 阿哲郡哲多町田淵70番地
 電話 0867-96-2062 FAX 0867-96-3562
<http://www.miic.ac.jp>